

# お手入れ方法について

## 商品を長くお使いいただくために

商品を長く使うためには、商品に応じたこまめなお手入れと調整が大切です。長期間清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。商品に合ったお手入れ方法や調整方法に従ってお手入れしてください。

### 清掃の目安

- 汚れがいたら、汚れが軽いうちに清掃してください。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、汚損が進みやすいので、さらにこまめにお手入れしてください。

### お手入れ時のご注意 (共通)

#### 【薬品のご使用について】

- 有機溶剤 (シンナー・ベンジン・アセトンなど) を含むクリーナー・洗浄剤は、お手入れには使用しないでください。有機溶剤が表面に付着すると、ひび割れやはがれなどが生じるおそれがあります。
- 塩素系薬品 (次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など) が表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



#### 【キズへの配慮】

- たわし・金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。表面にキズがつくおそれがあります。
- 砂などがついたままふき掃除をすると、表面にキズがつくおそれがあります。

#### 【電動商品の場合】

- お手入れの時、電装部品に水がかからないようにご注意ください。故障するおそれがあります。電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店または販売店にご相談ください。

#### 【調整する場合】

- 商品の調整に電動ドライバーは使わないでください。商品の不具合や破損の原因となります。
- 調整に必要な箇所以外のネジをゆるめないでください。商品の不具合や思わぬけがの原因となります。
- ご自身で調整を行う場合は、取扱説明書に記載する方法に従ってください。ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または、当社お客様相談室に修理を依頼してください。

#### 【スチール製商品】

- さび、腐食、色落ちに対する注意が必要です。表面に汚れがいたら早めに洗い落としてください。
- 玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていない鋼板に適したワックス<sup>(注)</sup>を使ってお手入れすることをお勧めします。

(注) ワックスの一例：セラリカコーティングピュア®。ワックスを使用する場合には、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

#### 【樹脂製商品】

- ストープやアイロンなどの熱源を商品に近づけないでください。熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがあります。
- 樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

#### 【ガラス】

- ガラス表面にキズがつくと割れるおそれがありますので、お手入れの際は必ず柔らかい布をご使用ください。
- 表面にキズがついてしまった場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店にご相談ください。

#### 【ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について】

- ガラス表面が曇ったときなどに、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼られたラベルの跡が浮き出てくることがあります。この現象は、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。
- 中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」(酸化セリウム配合) で除去できます。ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

#### 【アクリル・ポリカーボネート板】

- 有機溶剤を含む殺虫剤やガラスクリーナーは、商品に付着しないようにしてください。ひび割れの原因になります。

### 通常のお手入れ

- お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで強く水をかけないでください。室内側へ水が入る場合があります。

#### 1 表面のホコリ・砂を落とす

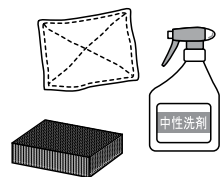
柔らかい布に水を含ませ、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



#### 2 水ぶきする

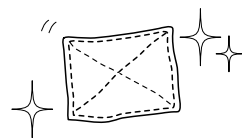
柔らかい布またはスポンジで、全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤 (1~2%の水溶液) で軽く洗い流します。



#### 3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



#### 結露、雨水などがかった場合

#### 1 水分をふき取る

すみやかに、乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

